

昭和十一年四月

保健衛生調査會第二十回報告書

東北地方
農村部
衛生調査會
調査報告書
第二十回
報告書
(二〇頁)

保健衛生調査會

国立公衆衛生院附属図書館



00018296

P-A
20
17

例言

本篇ハ昭和十年四月ヨリ昭和十一年三月ニ至ル本
會議事ノ概要ニツキ輯録シタルモノナリ

昭和十一年四月

保健衛生調査會

国立公衆衛生院附属図書館	
受入先	松浦十四郎先生寄贈
受入日	98.3.10
登録番号	72669
所在	
Library, National Institute of Public Health	

保健衛生調査會第二十回報告書

目次

第一章 職員	一頁
第二章 特別委員	六
第三章 議事	三
第一節 會議ノ回数	三
第二節 議案ノ件數	三
第三節 特別委員會議事大要	三
農村衛生狀態改善ニ關スル特別委員會	

第一章 職員

(昭和十一年三月三十一日現在)

委員長

潮 惠 之 輔

磐 瀨 雄 一

永 井 潜

高 野 岩 三 郎

瀨 川 昌 世

三 宅 鍬 一

林 春 雄

伯爵 柳 澤 保 惠

富 士 川 游

宮 川 米 次

一 番 二 番 三 番 四 番 五 番 六 番 七 番 八 番 九 番 十 番 十一 番

十二番
十三番
十四番
十五番
十六番
十七番
十八番
十九番
二十番
二十一番
二十二番
二十三番
二十四番
二十五番
二十六番

光田健輔
赤松小寅
田宮猛雄
三田定則
内野仙一
岡村龍彦
北島多一
戶田正三
佐伯矩
秦佐八郎
唐澤光德

二十七番
二十八番
二十九番
三十番
三十一番
三十二番
三十三番
三十四番
三十五番
三十六番
三十七番
三十八番
三十九番
四十番
四十一番

奥村鶴吉
衣笠豐
三宅秀
宮入慶之助
横手千代之助
賀屋興宣
北山重信
栗山重信
栗津清亮
宮島幹之助
龜田豐治朗
古瀬安俊
岩住良治
那須皓

四十二番
四十三番
四十四番
四十五番
四十六番
四十七番
四十八番
四十九番
五十番
五十一番
五十二番
五十三番
五十四番
五十五番
五十六番

武藤喜一郎
津野慶太郎
田澤鏡二
高杉新一郎
金杉英五郎
馬淵銳太郎
小泉親彦
矢野恒太郎
西野忠次郎
中川望
小原新三
岩原拓
原泰一

幹事

白松篤樹
藤原孝夫
高野六郎
南崎雄七
野邊地慶三

備考

會長

後藤文夫ハ昭和十一年三月九日依願内務大臣ヲ免セラレ會長ヲ退ク

潮恵之輔ハ昭和十一年三月九日内務大臣ニ任セラレ會長トナル

委員

内務政務次官男爵大森佳一ハ昭和十一年三月二十五日依願本官ヲ免セラレ委員ヲ退ク

内務次官丹羽七郎ハ昭和十年六月二十八日依願本官ヲ免セラレ委員ヲ退ク

社會局長官赤木朝治ハ昭和十年六月二十八日内務次官ニ任セラレ同年七月四日委員被仰付同十一年三月十三日依願内務次官ヲ免セラレ委員ヲ退ク

内務參與官伯爵橋本實斐ハ昭和十一年三月二十五日依願本官ヲ免セラレ委員ヲ退ク
 内務省地方局長岡田周造ハ昭和十一年三月十三日兵庫縣知事ニ任セラレ委員ヲ退ク
 内務省衛生局長岡田文秀ハ昭和十一年三月十三日内務省土木局長ニ任セラレ委員ヲ退ク
 社會局部長挾間茂ハ昭和十一年三月十三日内務省衛生局長ニ任セラレ委員ヲ退ク
 臨時委員
 簡易保險局長平井宣英ハ昭和十年七月十三日依願本官ヲ免セラレ臨時委員ヲ退ク

第二章 特別委員

(昭和十一年三月三十一日現在)

一、衛生思想普及ニ關スル件

特別委員長
委員

三宅秀
 磐瀬雄一
 永井潛
 林春雄
 宮川米次

一、都市衛生狀態改善ニ關スル件

特別委員長
委員

伯爵柳澤保惠
 高野岩三郎
 北島多一
 横手千代之助

内野仙一
 北島多一
 佐伯矩
 唐澤光德
 奥村鶴吉
 横手千代之助
 宮島幹之助

一、乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル件

特別委員長

委員

伯爵

柳澤保一 惠

磐瀬雄一

高野岩三郎

瀨川昌世

北島多一

佐伯矩

唐澤光德

三宅秀

横手千代之助

栗山重信

龜田豐治朗

古瀬安俊

武藤喜一郎

一、民族衛生ニ關スル件

特別委員長

委員

津野慶太郎

北島多一

磐瀬雄一

永井潜

瀨川昌世

三宅鏡一

田宮猛雄

三田定則

岡村龍彦

栗山重信

岩住良治

一、農村衛生状態改善ニ關スル件

特別委員長
委員

伯爵

柳澤保惠
宮川米次
佐伯矩
唐澤光德
衣笠豐
横手千代之助
宮島幹之助
那須皓

一、結核豫防ノ根本的對策ニ關スル件

特別委員長
委員

金杉英五郎
宮川米次
赤松小寅

田宮猛雄
北島多一
佐伯矩
唐澤光德
栗山重信
宮島幹之助
古瀬安俊
田澤鏢二
馬淵銳太郎
小泉親彦
矢野恒太
西野忠次郎
中川望
小原新三
原泰一

第三章 議事

第一節 會議ノ回数

特別委員會 計	總會	昭和十一年												計			
		四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月				
一	一																
二	二																
二	二																
一	一																
一	一																
一	一																
一	一																
一	一																
一	一																
一	一																
一	一																
四	四																

第二節 議案ノ件數

特別委員會 計	總會	議事經過		
		既決	議濟	未濟
		一	一	一
三	三			

第三節 特別委員會議事大要

農村衛生狀態改善ニ關スル特別委員會

第十八回

昭和十年四月十八日午後一時二十分ヨリ内務省會議室ニ於テ開會
出席者 委員長 柳澤伯爵

- 佐伯、唐澤、衣笠、横手、宮島各委員
- 白松、藤原、高野、南崎、野邊地各幹事
- 池田技師

榮養研究所原、黒田兩技術官

議事ノ經過

一、委員長開會ヲ宣シ前回提案ヲ見タル「東北地方農村ニ於ケル榮養ノ指導改善ニ關スル建議案」ニ關シ審議セラレ度キ旨ヲ述べ、次デ佐伯委員ヨリ案文ノ説明ハ省略シ、前回委員長ヨリ具體的對策ヲ示スヤウニトノ意見ニ基キ作製セル別記榮養ノ指導改善上有効適切ト認メララルル八項目ニ付キ之ガ概要ノ

説明ヲナシ、就中榮養指導員ノ設置、母乳代用品配給所ノ設置ニ就テハ實現ノ急速ヲ要スレバ篤ト考慮セラレ度キ旨並之ガ案文ノ字句修正ハ苦シカラザルモ其ノ趣旨内容ニ付テハ贊同セラレ度キ旨ヲ述ブ

一、右説明ニ關シ種々意見ノ開陳及質疑アリ今其ノ大要ヲ述ブレバ

(A) 委員長ヨリ指導職員ハ榮養研究所ニ於テ今後相當期間指導シ然ル後東北地方農村ニ配置スルヤ或ハ直ニ配置可能ナリヤ、又宮島委員ヨリ別記第一項中「數名ノ専門職員ヲ置クコトヲ要ス」トアルモココニ之ヲ明記スル必要アリヤ、八項目中前二項ニハ詳細ナル説明ヲ加ヘ他事項ニ付テハ之ヲ加ヘザルハ全體ノ上ヨリ見テ不體裁ナラズヤ、次デ唐澤委員ヨリ第二項ノ母乳代用品配給所ノ設置ト第七項ノ妊産婦授乳婦ノ榮養保障ニ關スル施設ヲ一括シテハ如何、例ヘ母乳代用品ノ配給所ヲ設置スルモ比較的效果ハ擧ラヌト思考セラルレバ、母乳ノ僅少ナル授乳婦、妊産婦ノ榮養ヲ第一ニ改善シ然ル後母乳ノ少キ者ニ對シ母乳代用品ヲ配給スルトイフヤウニシテハ如何等ナリ

(B) 藤原幹事ヨリ (イ) 母乳代用品ノ配給所ヲ設置ストアルモ國費ヲ以テスルヤ、(ロ) 配給スル母乳代用品ノ原料提供ノ主體ハ如何ト、之ニ對シ佐伯委員ヨリ右配給所ノ設置ニ關シ國費ヲ以テスル理由ニツキ、母乳代用品トシテハアメリカ、支那等ニモアルガ之ガ取扱方ニ關シテハ特ニ注意ヲ要スルコト多ク、牛乳同様清潔ヲ保持シ榮養上並衛生上安全タラシメネバナラス、殊ニ東北ノ現状ヨリシテハ斯クアラネバナラスコト、今日迄榮養改善ハ主トシテ講演會、講習會等ノ如ク後々迄ハ形ヲ止

メザルモノ多キモ何等カ有形ノモノガ存スレバソレヲ基礎トシテ良キ方面ニ發展スル傾向ガアル、其ノ意味ヨリシテ母乳代用品配給所ノ設置ガ將來ノ母乳並乳兒保護ノ發展ノ兆トハナラスカ、尙(ロ)ノ問ニ對シテハ之ヲ無制限ニ供與スルコトヲセズ原則トシテ實費徴收ヲ爲シ、タダ現金ノ無キ者ノミハ穀物ヲ以テ代納スル、即チ材料ハ地方人ヨリ集メ之ニ加工ヲ施シ再ビ農民ニ返スト謂フ方途ヲ講ジ得ルコト、之ニ關シ藤原幹事ヨリ例ヘ徴收方法ヲ右ノ如クスルモ、ソレガ客體ノ標準ヲ如何ニ決定スルカハ實際問題トシテ甚ダ困難デアリ、又之ヲ救濟機關トスルカ或ハ榮養ノ指導改善機關トスルカニ依リテモ趣ヲ異ニシ且母乳代用品ハ理想的ノモノデナク、理想トシテハ母性ノ榮養改善ガ第一デアリ、ソレガ不可能ノ場合ニハ母乳代用品ヲ配給スルモノト思料ス、斯ル見地ヨリスレバ何等施設ヲ作ル必要モナク配給スルニ當リ有料無料モ考慮ニ入レズ代用品トシテハ斯ノ如キモノヲ作レト云フ程度ニテ可能ナラズヤ等ノ意見アリ

(C) 唐澤委員ヨリ適當ニシテ廉價ナル代用品トハ如何ナルモノヲ指稱スルヤトノ問ニ對シ、佐伯委員ヨリ豆乳ヲ擧ゲラレタルニ對シ、唐澤委員ヨリ豆乳ニヨリテ果シテ乳兒ヲ育成スルコトヲ得ルヤ、現今日本ニ於テ代用品トシテ用ヒラレツアルモノハ卵ト重湯デアリ、豆乳ニ付キテハ何等試験ヲ行ヒタル結果モナケレバ不安ナキニアラザルヤ、且配給所ヲ設置スルモ配給所デ作製セルモノヲ山間ノ者マデガ配給ヲ受クルカ、又其ノ貯藏期間等ニ就テモ考慮セネバ大ラズ趣々意見開陳アリ、又

宮島委員ヨリ配給所ノ國營ニ付キ反對意見アリテ孰レモ議論ノ一致ヲ見ズ依テ委員長ヨリ本日ハ衛生局長モ缺席ナレバ、更ニ次會ニ適當考慮審議スベキ旨ヲ述べ一應打切りトナル

一、次デ農林省安藤農事試驗場長ヨリ東北地方ニ於ケル農業生産物ノ將來ニ就キ大略(一)該地方ニ於ケル農村ノ特異性(二)農業生産物並其ノ消費狀況(三)將來ノ農業生産物ニ關シ詳細説明アリタルガ其ノ大要次ノ如シ

(一) 該地方ニ於ケル農村ノ特異性

(イ) 水田ガ畑地ヨリ多キコト

田畑耕作地ノ割合ヲ見ルニ青森、岩手、福島ヲ除キ宮城、山形、秋田ハ何レモ七割以上水田ニシテ之ガ利用關係ハ小作ガ大部分ヲ占メ宮城ノ如キハ五割三分ハ小作狀態デアル、依テ全體トシテ水田ノ多キ東北農村ニ於テ小作ガ主デアリ且小作料ノ他府縣ニ比シ高率ナルハ農業者ヲ困窮タラシム

(ロ) 農業生産物ノ價格ガ他縣ニ比シ低廉ナルコト

一段歩當リ農業生産物全國平均收入額ハ四十一圓七十錢ナルモ、東北ハ二毛作ガ不能ナル爲メ青森二十五圓四十錢、秋田三十圓八十錢ト云フ狀況デアリ之等モ亦東北農家ヲ困窮タラシム

(ハ) 土地ノ栽培面積ハ形式的ニハ廣大ナルモ實質的ニ狹少ナルコト

東北地方農家一戸當リノ平均所有田畑ハ一町四段五畝、東北及北海道ヲ除ク他府縣ハ約八段七畝ナルモ東北ハ二毛作ガ不能デアリ從テ八段七畝ハ二毛作ニ換算スレバ一町七段四畝トモナル、コノ點亦東北農村ニハンデキャップガ附セラル

(二) 農産物ノ生産並消費狀況

米ハ全生産物中其ノ主位ヲ占ムルモ、小麥ノ生産ハ大正六、七年頃ヨリノ好況時代ニ米ニ換ハリ、大正十二年頃ヨリ製粉事業ノ勃興並大正十四年ノ小麥ノ保護獎勵、昭和七年ノ小麥關稅引上等ノ保護政策ニ依リ近時之ガ著シキ增收ヲ來シタルコト、次デ雜穀ニ關シ他府縣トノ比較、尙近來南福島、山形、宮城、秋田、岩手ノ一部ニテ甘藷、馬鈴薯ガ生産セララルニ至リタルコト、豆類ハ日本全生産額中第一位ヲ占ムルモ滿洲大豆ノ輸入ニヨリ減少シツツアルコト、野菜、林檎等モ相當生産アリ宮城縣ニ於テハ野菜ヲ東京市場へ、岩手縣ニ於テハ馬鈴薯ヲ京阪地方マデ移出シホボ他府縣ト同様ナルコト、次デ消費狀況ニ關シ全體ノ推定消費量、人口一人當消費並消費割合ニツキ詳細ナル説明アリ

(三) 該地方ニ於ケル將來ノ農業生産物

以上農業生産物ノ現況並之レガ消費狀況ヲ概觀シタルモ將來ノ農業生産ニ當ツテ考慮セララルルコトハ

一 土地ノ開墾ヲ圖ルコト

開墾適地ハ東北全體トシテ約二十萬餘町步アリ、人口並收入上ヨリ耕地面積ノ擴張ヲ圖ルコトハ必要ナルモ、之等ヲ全部畑地トスルヤ、水田トスルヤハ問題デアリ原則トシテハ經費ノ少キ畑地トスベキデアル、而シ昨年ノ凶作ノ結果ヨリ全然水田ヲ排スベシトノ論アルモ水田ハ畑地ヨリ收入ノ増大ヲ來スコト多ケレバ一概ニ之ガ良否ヲ決定スルコトハ至難ナリ

二 肥料問題ニ付キ注意ヲ圖ルコト

肥料ニ就テハ金肥ヲ除キ一段歩ノ全國平均肥料高ハ五圓程度ナルモ、岩手、秋田ハ之ヨリ僅少デアル、因テ將來畑地ニ對シテハ自給肥料ヲ以テ畑作ノ改善ヲ企圖セネバナラス、而シ乍ラスクスルコトニヨリテ將來幾何ノ生産ヲ増加スルコトヲ得ルカハ適確ニハ述ブルコトヲ得ザルモ以下各種農産物ノ將來考慮セララルル點ヲ舉グレバ

(イ) 米

米ノ生産増加ニツキ品種ノ改良ハ從來相當考慮セラレ品質並數量ノ上ニ効果ヲ上ゲツツアルモ、特ニ東北地方ニ於テハ「陸羽百三十二號」ガアリ、平地ニ作リタルモノハ良好ナルモ太平洋岸標高二百米ヨリ二百米位ノ處ニ於テハ不作デアツタ、之レニ農業ハ天候ノ支配ヲ受クルコト又往時ノ凶作ヨリ受ケタル被害ヲ忘却シ凶作ニ對抗シ得ルモノヲ生産セザル結果デアル、從ツテ將來

ハ品種ノ改良ニツキテ特ニ注意スベキコト

(ロ) 小 麥

從來内地ノ小麥ハ小粒ニシテ製粉トスルモ又「パン」トスルモ不適當デアルガ東北地方ハ之等ヨリ相當良質ノモノモ生産出來得レバ更ニ之ガ品種ノ改良ヲ圖ルコト、特ニ太平洋岸ハ寒サニ堪ヘルモノヲ考慮スベキコト、小麥ハ大麥ヨリ美味デアリ且搗精モ容易デアレバ將來ハ製粉ヨリ一般ノ食品トシテ用ヒラレハセヌカ

(ハ) 其ノ他ノ雜穀

之等ニ付テハ萬一ノ場合ニ備ヘル爲栽培法ヲ考慮スルコト

(ニ) 馬鈴薯、甘藷

馬鈴薯ニ就テハ交配ニ注意スルコト、甘藷ハ、千葉、埼玉ヨリ現ニ苗ヲ買入レツツアルガ、今少シク水芋ヲ多ク作ルヤウニスルコト

(ホ) 豆 類

豆類ハ主トシテ大豆デアアルガ一層增收ヲ圖ルヤウ注意スルコト、秋田ニ於テハ昨年ヨリ豆ノ栽培改良ヲ圖リ相當生産ノ餘裕ノアリタルコト、而シ大豆ニ付テハ滿洲關係モアリ價格ニ付キテ考慮スル必要アルコト尙日本デハ「ライ」麥ハ生産セザルモ秋田ノ海岸ニハ極ク少シ生産シ、ダンゴ

トシテ食シツツアルモ、其ノ收穫ハ相當好成績ヲ收メテ居レバ「ライ」麥ハ大麥、小麥ヨリ寒サニ堪ヘ且小麥ト同様ニ製スルトキハ米ノ代用品トシテ食スルコトモ出來得レバ今後研究スル必要ノアルコト

(ハ) 果樹蔬菜等

之等ニ就テモ尙生産ノ餘地アルモ、多ク生産セバ彈力性ヲ缺ク爲メ價格ノ低廉ヲ來スヲ以テ、生産者ノ價格統制ニ依リ現況ヨリ可成リ好成績ヲ上グルコト可能ナルコト等大略右ノ如キ説明アリ午後四時散會セリ

東北地方農村ニ於ケル榮養ノ指導改善ニ關スル建議案

由來天惠菲薄ニシテ文化ノ惠澤完カラザル東北地方農村ニ於テハ住民ノ生活改善ヲ要スル事項尠カラズト雖モ、就中其ノ生命ヲ保チ生活ヲ營ム上ニ缺クベカラザル榮養狀態ニツキ至大ノ缺陷アルヲ認ム、而シテ此ノ缺陷ハ凶作時ニ際シテ一層甚シキヲ加フルモノアリ、斯ノ如キハ保健衛生上眞ニ寒心ニ堪ヘザルノミナラズ其ノ經濟上ニ及ボス影響亦看過スベカラザルモノアリ、依テ政府ハ同地方ニ於ケル榮養ノ指導改善上別記ノ如キ有效適切ナル方途ヲ講ジ、殊ニ榮養指導員並母乳代用品配給所ノ設置ハ差向之ガ實現ヲ圖リ以テ憂慮スベキ衛生狀態ノ改善ニ資シ併セテ東北振興ノ基礎ヲ鞏固ニセラレムコトヲ望ム右

本特別委員會ノ決議ニ依リ此段及建議候也

昭和十年四月十八日

農村衛生狀態改善ニ關スル特別委員長

保健衛生調査會長宛

(別記) 東北地方農村ニ於ケル榮養ノ指導改善上有效

適切ト認メラルル事項

一、榮養指導員ノ設置

東北地方農村ニ於テハ主食ニ偏シテ副食ヲ輕ンジ食物ノ配合、調理何レモ其ノ方法不合理ナルヲ以テ榮養ニ關スル知識ノ啓發ヲ圖ルハ固ヨリ直接住民ニ對シ實地指導ヲ行フコト極メテ肝要ナリ、之ガ爲東北六縣ニ榮養指導職員若干名ヲ設置スルト共ニ此等ノ職員ヲ指導シ且東北地方農村ニ適合スル榮養ノ研究ニ從事セシムルタメ榮養研究所ニ數名ノ専門職員ヲ置クコトヲ要ス

二、母乳代用品配給所ノ設置

東北地方農村ニ於ケル母性ノ榮養狀態ノ不良ハ母乳ノ質及量ニ重大ナル缺陷ヲ生ジ育兒上寒心ニ堪ヘザルモノアルノミナラズ現ニ使用セラルル各種母乳代用品モ亦榮養上不完全ニシテ甚シキ有害ナル

モノサヘアリ、爲ニ乳兒ノ健康ヲ阻害シ乳兒ノ死亡率ヲ高メツツアル現状ニ鑑ミ適當ニシテ廉價ナル
母乳代用品ノ調製配給ヲ行フコト極メテ緊要ナリト認ム

- 三、農繁期ニ於ケル共同炊事
- 四、經濟榮養食材料ノ供給ニ關スル施設
- 五、榮養上ノ見地ヨリスル食料品生産ノ調査研究
- 六、榮養ト食料品貯藏トノ關係ノ調査研究
- 七、妊産婦及授乳婦ノ榮養保障ニ關スル施設
- 八、幼兒ノ榮養保障ニ關スル施設

第十九回

昭和十年五月十三日午後一時三十分ヨリ内務省會議室ニ於テ開會

- 出席者 委員長 柳澤伯爵
- 佐伯、宮川、唐澤、衣笠、横手、宮島、岡田各委員
- 藤原、高野、南崎各幹事

一、母乳代用品タル豆乳ニツキ唐澤委員ヨリ新潟市ニテ最近開會ノ小兒科學會ニ於ケル赤十字社岩手支

部在勤者ノ報告ニ基キ大要次ノ通り説明アリ、即チ東北地方ハ乳兒ノ死亡率多ク殊ニ凶作ノ翌年ニ之ガ激増ノ傾向アルコト又凶作ノ年ニ生レ出デタル乳兒ハ成長ノ後壯丁検査ノ成績モ悪シク旁凶作時ノ乳兒ノ養育ハ之ヲ小ニシテハ小兒衛生之ヲ大ニシテハ社會問題ト考ヘラルルヲ以テ昨年ノ凶作ニ際シ乳兒ノ保護ニ懸命ノ努力ヲナシ、乳兒哺育院ニ於テ二十七名ノ乳兒ヲ直接保護シ豆乳ヲ與ヘタルガ稍良キ結果ヲ得タルハ僅カニ三例ニ過ギズ、而シテ豆乳ハ市内ニテ販賣セルモノヲ用ヒ其ノ製法ヲ監督セリ、豆乳ハ食慾ヲ害ス、カルシウムノ含有量少ナシ、榮養價少ナキヲ以テ牛乳又ハ粉ミルクヲ混用スルヲ要シ自宅ニテノ製法ハ至難、豆腐屋ニ頼ムト薄クテ困ル、從テ榮養價ニ乏シク抵抗力ヲ養フコトモ少ナシ、尙本研究ハ未完成ニツキ今後モ研究ノ續行ヲ依頼セリ、之ニ對シ佐伯委員ヨリ牛乳ヤ粉ミルクヲ得ル便宜アル地方ニ於テハ殊更豆乳ヲ使用スルニ及バザルコト、豆乳ノミニテハ榮養價不足ニツキ（無機質、ビタミンA等不足）之ヲ補フヲ要スルコト旁只今ノ報告ト榮養研究所ノ研究ノ結果ハ全ク一致スル旨ヲ述ブ

一、別紙建議案ニツキ藤原幹事ヨリ説明アリタルガ之ニツキ必要ノ經費ハ本年度ノ第二豫備金中ヨリ支出スルヤウイタシタキコト又東北振興調査會ヲ動カシ同會ノ他ノ案ト共ニ全面的ニ考究セシムベキコト等ノ意見出デ原案通り可決確定

次回ハ來ル五月二十一日東京府下農村ニ於ケル榮養改善狀況ヲ視察スルコトトシ午後一時三十分散會

東北地方農村ニ於ケル榮養ノ指導改善ニ關スル建議案

由來天恵菲薄ニシテ文化ノ惠澤完カラザル東北地方農村ニ於テハ住民ノ生活改善ヲ要スル事項尠カラズト雖モ、就中榮養状態ニツキ至大ノ缺陷アルヲ認ム、而シテ此ノ缺陷ハ凶作時ニ際シテ一層甚シキヲ加フルモノアリ、斯ノ如キハ保健衛生上眞ニ寒心ニ堪ヘザルノミナラズ、其ノ經濟上ニ及ボス影響亦看過スベカラザルモノアリ依テ政府ハ此ノ際同地方ニ於ケル榮養状態ノ改善ヲ圖リ以テ憂慮スベキ衛生状態ノ改善ニ資シ併セテ東北振興ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルヤウ特ニ配意セラレムコトヲ望ム、而シテ別記榮養指導員ノ設置ハ之ガ趣旨ニ副フ最モ有效適切ナル方途ト認メラルヲ以テ、速カニ之ガ設置ヲ期セラレ度右本特別委員會ノ決議ニ依リ此段及建議候也

昭和十年五月十三日

農村衛生状態改善ニ關スル特別委員長

保健衛生調査會長宛

(別記)

榮養指導員ノ設置

東北地方農村ニ於テハ主食ニ偏シテ副食ヲ輕ンジ食物ノ配合、調理何レモ其ノ方法不合理ニシテ且其ノ

貯藏ニ就テモ缺クル所尠カラズト認メラルヲ以テ、榮養ニ關シ適切ナル知識ノ啓發ヲ圖ルト共ニ直接住民ニ對シ實地ニツキ指導ヲ行フコト極メテ肝要ナリ、之ガ爲東北六縣ニ榮養指導職員若干名ヲ設置スルノ要アリト認ム

榮養改善施設視察

昭和十年五月二十一日午前九時

委員長 柳澤伯爵

佐伯、宮川、唐澤、宮島、横手、衣笠、岡田各委員

藤原、南崎兩幹事

輕部東京府衛生課長

奥村理事官

内務省出發左記順序ニ依リ東京府下ニ於ケル榮養改善施設狀況視察

午前 十時 八王子市着、全市ニ於ケル第一榮養食共同炊事場視察

正 午 西多摩郡古里村小學校着、同校ニ於ケル兒童給食狀況視察

同 三 時 西多摩郡氷川村着、同村小學校榮養施設狀況視察

同五時半 東京市内歸着解散

埼玉縣下ニ於ケル榮養改善施設視察

昭和十年七月十九日午前九時

委員長 柳澤伯爵

佐伯、衣笠、宮島、唐澤、横手、岡田各委員

南崎幹事

奥村理事官

内務省出發

午前九時三十分 川口市着同市ニ於ケル工場榮養改善狀況視察

午前十一時三十分 入間郡精明村着、同村ニ於ケル農村住民榮養改善狀況視察

午后零時十分 飯能町着、縣立飯能高等女學校及丸中工場榮養改善施設視察

午后五時 飯能町發歸京

